

第92回日本細菌学会関東支部総会報告

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
生体防御検査学分野 岡村 登

第92回日本細菌学会関東支部総会は、平成21年11月5日(木)、6日(金)両日、東京医科歯科大学5号館講堂で開催され、無事に終了することができました。今回の総会は「感染症の最前線－細菌の新たな感染戦略の解明－」をテーマとしたシンポジウムと一般演題発表で構成しました。

一般演題の発表は、初日の午前・午後にわたって行われましたが、想定以上の43題の応募があり当初予定の発表・討論の時間が大幅に短縮され、発表者・座長の先生にはご迷惑をおかけしました。しかし、短時間ではありましたが、活発な質疑応答が行われましたことを申し添えます。一般演題発表後、情報交換会・懇親会が行われ、その席でBest Presentation 賞に小野紗矢佳(北里大学薬学研究科)、齋藤昂良(北里大学理学研究科)2氏が学生会員から選ばれ、賞状および副賞(5万円・図書券)が授与されました。また情報交換会には多くの会員の参加があり、懇親を深めました。

総会2日目は岡田信彦(北里大学薬学研究科)・村山琮明(北里大学感染制御科学府)両先生の進行により、6人のシンポジストが種々の細菌の薬剤耐性を含めた病原性・感染戦略に関する興味深い講演を行い、活発な討論が展開されました。

当日の総会の運営は私の研究室の関係者で行い、いろいろな面で不行き届きな点があったと思います。この場を借りてお詫び申し上げます。

今回の支部総会が、関東支部の会員間の研究の交流、新しい共同研究の機会となることを祈念するとともに会員各位のご協力に深く感謝申し上げます。

一般演題討論風景



情報交換会 山本支部長挨拶



情報交換会 平井次期総会長挨拶

